

# 2010年度 事業計画書

特別非営利活動法人メイド・イン・ジャパン・プロジェクト

# 目次

## I .代表所信

## II .事業計画概要

1.活動方針

2.「ひとづくり」

3.「ことづくり」

事業機会の創出と普及・学習推進活動

4.「モノづくり」(モノづくり委員会)

5.会員拡大活動

6.組織・人員計画

## III 収支計画

1.収支予算

2.収入の部

3.支出の部

# I .2010年度代表所信

いつも皆様の多大なるご支援、ご鞭撻頂きありがとうございます。

NPO法人MIJPはお陰さまでこの7月で第5期を迎えることが出来ました。そしてご存じの通り昨年は11月に内閣府認証の特定非営利活動法人として、新たなスタートを切ることが出来ました。東京、名古屋それぞれ定例会やサロンなど様々なイベントを開催し多くの方に参加いただくことが出来ました。皆さんに心から感謝申し上げます。

さて、我々を取り巻く経済環境は依然厳しく回復の兆しも中々見えません。国内だけでなく対外的にも問題は山積みで大借金国の日本は国際的な信用力を保つため「日本独自の強み」を強化し、貿易黒字をつくり続けなければいけません。

そんな日本の情勢を活性化するためNPO法人MIJPの今年度の活動の柱として、第一に国内需要を活性化の推進をしていきます。国内で多くの人たちが関わりあい交流し素晴らしい「ものづくり」をし、ワークショップ、産業観光等の草の根活動からおもてなしの心や四季を感じる感性など「ことづくり」をします。

又、全国に活動地域を広げ、地域のものづくりを元気にしてくれる地域の「ひとづくり」もしてまいります。具体的にマッチング等に関わった商品のMIJP認定制度やその商品の卸のお手伝いも始め、その集大成として、来年の6月にはMIJP EXPOを開催します。

第二に海外販路の創出です。2年後にMIJPとして会員の皆様と東アジア地域の展示会においてニッポンエリアの出展を目指し、和僑会との連携を強化してしっかり販路をつくれる仕組みの調査研究をしていきます。

また昨年度後半より、いろいろな地域からお話をいただくようになり、今年度は名古屋、東京、滋賀、に加わり岐阜、岡山、広島、山口、静岡といった地域での活動の新たに立ち上げ準備をしていきます。特に全国でもものづくりの中心である岐阜はMIJPのモデル支部になるよういろいろなところみをしていきます。

さらに今年度はHPの整備、強化も最重要課題としていきます。

NPO法人MIJPも4年間の草創期も終わり、この5期からを支部拡大期と位置づけ新しいスタートです。立ち上げから4年間を支えて頂いた皆様が自信と誇りの持てる運動体となり、新たに支えて頂ける個人や企業の方々には、具体的にわかりやすく魅力ある運動体を目指します。

こんな厳しい今だからこそ、力を合わせて一緒に元気なニッポン製の明日を創りましょう！

平成22年7月1日

特定非営利活動法人 メイド・イン・ジャパン・プロジェクト

代表理事 鶴 田 浩

## Ⅱ.事業計画概要

### 事業目的

特別非営利活動法人メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(以下、「当法人」という)は、日本のモノづくりの分野において、地域へ還元される循環の確立を目指している。生産者、流通、クリエイターなど業種、取り扱い品目の枠を超えた「新しいコミュニティ」を創出し、業界の活性、事業機会の発見をうながす。また同時に、そこで作り出される「日本製」が消費者によって正しく理解、認知され支持される為に、消費者と生産者、消費地と生産地をつなぐための活動を行うことで、目的の達成を目指す。

キーワード

ひとづくり

ことづくり

モノづくり

### 1.活動方針

当法人では、内閣府認証のNPO法人として活動を始める今期を、当法人の理念・活動を全国規模へ広げるための組織づくりの年と位置づけ、その基盤整備に関わる事業に重点を置いて活動をする。

## 2.「ひとづくり」

### ◆地域人材発掘(地域人材開発室／事務局)

全国規模での「新しいコミュニティ」創出のために、各地域の意識改革を助け、地域における中心的な役割をになう人材・グループとのネットワークをつくり、セミナー、ワークショップの開催などを通じて、地域から発生する活動の基盤整備の支援をする。

#### (1) 愛知県における地域プロデューサーの育成事業

『農商工連携等人材育成事業』・・・全国商工会連合会から採択

#### (2) 地域における事業開発力強化のための活動

『中国地域における「デザイン力を活かした企業のブランドづくり」と「意匠権の活用」に関する研究会およびシンポジウム』開催・・・中国経済産業局から受託

#### (3) GIFUモノづくりネットワーク”構築事業委託業務

岐阜県におけるモノづくり企業とデザイナー、流通などとネットワークを構築することで、あたらしい販路開拓や商品開発に生かすための活動

### ◆支部開設支援活動(支部理事長会議／事務局)

当法人は日本全国で活動する各支部を統括する立場である。これまでの愛知エリアでの活動を支部事業のモデルケースとして、最終的に47都府県での支部を目指す。

‘10年度は、あらたに3支部の開設をし、既存の愛知と合わせ、4支部での展開とする。

#### (1) 支部開設 スケジュール

MIJP 滋賀 2010 年10月

MIJP 岐阜 2011 年4月30日

MIJP 東京 2011年4月30日

#### (2) 支援活動

■支部の事業マニュアルの標準化作業

■「MIJP滋賀」「MIJP広島」の先行開設支援

■「MIJP東京」開設に向けた、定例会の開催、組織組成業務

### ◆人的支援活動(地域人材開発室／事務局)

モノづくりの現場での後継者、就労者不足を将来的に解消する手だてとなるよう、インターンシップ事業、就労体験機会の提供、情報発信などにより、働き手となる人材を開拓し、各地域との連携を図る。

→ MIJP愛知よる、モデル事業展開

### 3.「ことづくり」

#### 事業機会の創出と普及・学習推進活動 (事業推進委員会／サポーター支援委員会)

当法人内部からの新しい事業・活動の誕生を促進するために、今有るコミュニティの連携をさらに深化・強化させる。

また、消費者と産地を結ぶ活動により、将来的な「日本製」ブランドの維持・発展をはかる。

##### ◆事業推進委員会

正会員の紹介、正会員への情報提供などを通してその事業の支援へとつなげる。

##### (1) ホームページ上での正会員のニュース掲出 (WEB強化推進室)

正会員へのサービス向上も兼ね、ホームページ上で正会員のNEWSを掲示する。

- ・新規会員 ⇒ 入会后1か月、宣伝掲出
- ・正会員ニュースの募集および掲出作業 (1会員4回／年以上)

##### (2) 補助金や行政法関連情報などを、支援会員と連動しメルマガなどを媒体として適宜提供し地域のボトムアップへつなげる。(事務局)

##### (3) ビジネス情報掲示板の運営 (WEB強化推進室／事務局)

正会員間のコミュニケーションを促し、ビジネスマッチングへ発展させることを目標として、活発な運営をする。

##### (4) MIJP\_EXPOの開催 (EXPO運営準備室)

年に1回の全支部対象の総会の開催をする。

第1回開催日 : 2011年6月 (ライフスタイル展)

##### ◆サポーター支援委員会

サポーター会員をメイド・イン・ジャパン・プロジェクトを底辺で支えるボリュームマーケットと位置づけ、そのボリュームの拡大と、日本のモノづくりをよく理解し、トレンドリーダーとなる層の創出を目指す。

##### (1) 地域の工房体験プロジェクト

目的 : モノづくりの現場を直接知ることで、日本に対する理解を深める。  
同時に観光のニーズも探り、地域との連携を図る。

内容 : 地域の工房の見学及び体験を行う。

参加主体 : 法人正会員のメーカー等

共 催 : 商工会議所、旅行代理店等を検討

## (2)他のNPO法人とのコラボレーションプロジェクト

目的 : 既存のネットワークを利用し新たなサポーター会員獲得を図る。  
双方の持つ特性にシンパシーを持つテーマを策定し、イベントを開催する。

参加主体 : 法人正会員のメーカー等

共 催 : 商工会議所等を検討

## 4.「モノづくり」(モノづくり委員会)

「メイド・イン・ジャパン・プロジェクト」の理念・目標を具現化する為に、当法人ならではのオリジナル商品の開発、「MIJP認定制度」の構築、参加型商品開発スキームの開発を進める。

(1)ミッドタウンアワード受賞作品の商品開発

(2)MIJP認定制度研究委員会

(3)「モノづくり基金」の開設準備

サポーターを対象に参加者を募り、当法人正会員のメーカー、デザイナーによるMIJPオリジナル製品の開発を目指す。

参加者が参加費用(1口2,000円/予定)を負担し、新製品の開発費用へ充当する。開発工程を開示し、参加者からの意見も取り入れるシステムとすることで、サポーター参加型の新しいモノづくりの形を提案する。

‘12年1月を目処に、「モノづくり基金」を組成する。